

ブラジル政府が新たなインフラ民営化計画を公表

- ブラジル政府の投資パートナーシップ・プログラム(PPI)は新たなインフラ運営権売却および民営化計画を公表。
- 計画には空港、高速道路、港湾、発送電、通信などのセクターの運営権入札や、国営企業の民営化が含まれる。
- 運営権売却益や民営化収入は政府の財政目標達成に寄与。また、政府はブラジル電力公社の民営化計画も承認。
- 民営化計画を受けてボベスパ指数は節目の7万ポイント台へ上昇。テメル大統領は年金改革の推進を改めて表明。

政府はインフラ民営化計画の第二弾を公表

ブラジル政府の投資パートナーシップ・プログラム(PPI)は8月23日、新たなインフラ運営権売却および民営化計画(57プロジェクト)を公表しました。

公表されたプロジェクトには、空港、高速道路、港湾ターミナル、発送電、通信などのセクターでの運営権入札のほか、造幣・パスポート発行企業や宝くじ運営企業など国営企業の民営化が含まれています(図1)。

特に、サンパウロ市のコンゴニャス空港はブラジル空港インフラ公社(Infraero)が抱える空港の中でも最も収益性が高い空港とみられており、運営権入札額は最低でも56億レアル(約1,960億円*)と推定されています。

これら入札や民営化は2018年末までに実施される計画で、運営権売却や民営化からの収入はブラジル政府の財政目標達成に寄与すると期待されています。

(*)1レアル=35円換算

政府はブラジル電力公社の民営化計画を承認

また、ブラジル政府は同日、鉱山・エネルギー省が提案したブラジル電力公社(エトロプラス)の民営化計画を承認しました。政府によれば、エトロプラスの民営化は、政府が参加しない増資によって行われる模様です。政府は国家運営に関わる戦略的決定への拒否権を確保するため、現在の保有株は売却しない方針を示しています。

ボベスパ指数は節目の70,000ポイント台へ上昇

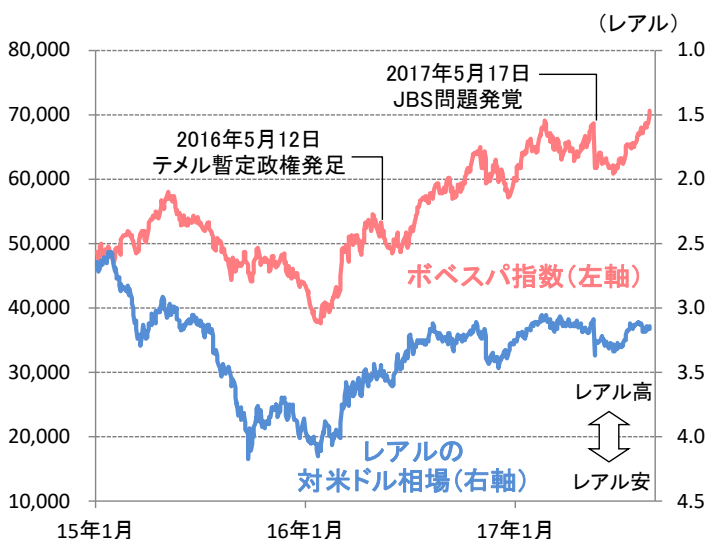
インフラ運営権売却や国営企業民営化の計画が明らかになったことを好感し、主要株価指数であるボベスパ指数は2011年1月以来となる節目の70,000ポイント台へ上昇しました(図2)。テメル政権による民営化推進は、政局混乱を受けて低下した経済改革への市場や産業界の信認を取り戻す意図があると考えられます。テメル大統領は8月22日の鉄鋼業界の会合で年金改革を諦めない方針を改めて表明し、産業界からの改革への支持を求めました。

図1:ブラジル政府が公表したインフラ民営化計画

セクター	プロジェクト数	主なプロジェクト
空港	18	コンゴニャス空港(サンパウロ) グアルーリョス国際空港(サンパウロ) ガレオン空港(リオ・デジャネイロ)
高速道路	2	BR-153号線 BR-364号線
港湾ターミナル	16	パラナグア港穀物ターミナル ミラマール港液化石油ガス・ターミナル
発送電	16	ジャグアラ水力発電所
通信	1	航空管制システム
国営企業 民営化	4	造幣・パスポート発行企業 宝くじ運営企業

(出所)投資パートナーシップ・プログラム(PPI)、各種報道
(注)リストにはインフラ運営権売却および民営化の計画が含まれる。

図2:ブラジルのボベスパ指数とレアル相場の推移



(出所)ブルームバーグ (期間)2015年1月1日~2017年8月23日

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。